GIDEON

ユーザーズ ガイド

GIDEON AutoCrypto

^{ギデオン} AutoCrypto **操作ガイド**

目次



目次

第1章 管理GUI操作······	• 4
1.1 管理GUI用サービス起動と停止	4
1.2 管理・設定画面のアクセス方法	4
1.3 ログイン	5
1.4 初期設定	7
1.5 TOP画面 ······	10
1.6 全体設定	12
1.6.1 基本設定	13
1.6.2 承認	15
1.6.3 ID管理 ······	17
1.6.4 ホワイトリスト	19
1.6.5 チェックリスト・・・・・	21
1.6.6 ライセンス	22
1.6.7 SMTPサーバの設定	23
1.6.8 更新環境の設定	24
1.7 サポート画面	25
第2章 承認GUI操作······	28
2.1 承認の流れ	28
2.2 承認GUI画面のアクセス方法	29
2.3 ログイン	30
2.4 承認操作	31
お問合わせ・・・・・	36

1.1 管理GUI用サービス起動と停止

[注意] 従来製品で管理GUIを起動されている場合はこの項目の操作は不要です。

管理画面を利用するためのサービスを起動するには、インストール後、root権 限でログインし、以下のイタリック部分のコマンドを実行します。

	# /usr/local/gwav/gwav-gui-control			
	==== GUI setting ====			
	Use web-interface for anti-virus (Yes/No) [No]: ${\scriptstyle {\cal Y}}$			
	Starting mini_httpd:	[OK]
	Starting mini_httpsd:	[OK]
I				

このサービスを停止するには、上記「y」に替わり「n」を入力します。

1.2 管理・設定画面のアクセス方法

クライアントPCから本製品がインストールされたシステムのGUI管理画面にアク セスします。WEBブラウザのアドレスバーで、以下のようにシステムのホスト名ま たはIPアドレスとポート番号(777)とサイト名(ac)を指定します。

> http://antivirus.gideon.co.jp:777/ac/ ※ホスト名がantivirus.gideon.co.jpの場合

セキュリティが気になる場合は、HTTPSでポート番号(999)を指定します。

https://antivirus.gideon.co.jp:999/ac/ ※ホスト名がantivirus.gideon.co.jpの場合

※ お使いのWEBブラウザおよびファイヤーウォールで、上記のポート番号を 許可するように設定してください。また上記ポートにアクセスするには、本製品イ ンストール後に、前項に記した操作によりシステム上で必要スクリプトを実行し、 ウェブサーバサービスを起動させておく必要があります。



1.3 ログイン

管理・設定画面にアクセスすると、画面1.1 ログイン画面が表示されます。 既存製品にて初回のログインで設定したパスワードを入力します。パスワード 入力後 [ログイン] ボタンをクリックします。



画面1.1

パスワードの変更

画面1.1 ログイン画面で既存のパスワードを入力して [変更] ボタンをクリック すると、画面1.2 パスワード入力画面が表示されます。 ここでパスワードを再設定します。(半角英数20文字以内)



画面1.2

1.4 初期設定

初回ログインの際には画面1.3使用許諾画面が表示されます。



この画面の記載条項をお読みいただき、承諾いただける場合は[承諾する]ボ タンをクリックして、さらにポップアップして表示される画面1.4にて[OK]ボタンをク リックして初期設定画面(画面1.5)に進んでください。

設定が必須な項目に関して 設定ボタンを押すまでは、 ん。	C、初期設定を行います。 オートクリプトは有効になりませ
	OK

画面1.4

GIDEON AutoCrypto

ライセンス設定 お客様登録No. AV***** パスワード g*******	18	本観測のライビン理察です。ライビンス担定はい必須してくため、ラ イビンス基本存在とない場合は、その支まご利用す時が、原用取込で でしたなななないとなった、その支まご利用す時がです。 する体験をパライセンスしても同様の数定が可能です。
利用メールアドレスのホスト <例> info@gideon.co.jpの場合	名(@念む) ち、『@gideon.co.jp』と登録	こって記述したホストなが会まれるメールアドレスのみが暖号化対象と 注まま などの見たいのです。 などの見たいのです。
SMTPサーバの設定 ホスト名 127.0.0.1	ポート番号 25	本製品がメールを送信する際に利用するSMTPサーバの設定です。 『全体設定/SMTPサーバルでも同様の設定が可能です。
書証方法 指定なし ユーザ名	<u>×</u> パスワード	



第1章 管理GUI操作

SMTPサーバの設定

本製品がメールを送信する際に利用するSMTPサーバの設定です。 SMTPサーバのホスト名(或いはIPアドレス)、ポート番号、認証が必要なら認証 方法と認証ユーザ名/パスワードを登録してください。

なお、すでにギデオン製品がインストールされている場合は本項目に表示され ている情報からの変更は不要です。



初期設定画面では次の項目を設定します。

[注意] ここで設定する項目は製品利用開始後にも管理GUIから設定可能です。

ライセンス設定

本製品のライセンス設定を行います。ライセンス証書の記載に従い、お客様登録No.とパスワードを入力してください。

なお、すでにギデオン製品がインストールされている場合は本項目に表示され ている情報からの変更は不要です。

利用メールアドレスのホスト名

本製品をご利用いただくメールアカウント、或いはドメインを限定される場合は この項目に登録してください。

なお、この項目を登録しない場合は全ての送信メールが処理対象となります。 また、この項目に設定した内容は他のギデオン製品機能(アンチウイルス、アン チスパムなど)には影響がありません。

1.5 TOP画面

「TOP」タブをクリックすると、画面1.6 が表示されます。

●動作状況(有効/無効) ■ ON■		比ログ			▶ 自動更新 1	▶ ダウンロー
	▲ No.	≑日時	+ AUTOCRYPTO-ID	≑ From	キファイル名	+送信
暗号化ファイル	0001	2012/10/05 13:45:23	<0022157d58bf.1349412323.9094>	gideon.co.jp	age to the first state of the	https()
時日かつっくしパフロード	0002	2012/10/05 12:39:25	<0022157d56bf.1349408365.17506>	gideon.co.jp	Adi-Chiefe Clinizip	https()
\$(10)	0003	2012/10/05 12:31:13	<0022157d56bf.1349407873.27124>	@gideon.co.jp	agencies and sign	https()
副具の予定書面	0004	2012/10/05 12:10:41	<0022157d56bf.1349406641.27129>	gideon.co.jp	80-control zip	https()
- 2010 07 80 AL 30 50.	0005	2012/10/05 12:08:59	<0022157d56bf.1349406539.27126>	@gideon.co.jp	dia no no no se zip	https()
▶全体設定	0000	2012/10/05 12:05:51	<0022157d56bf.1349406351.27124>	gideon.co.jp	ad-control zip	https()
	0007	2012/10/02 16:33:16	<0022157d56bf.1349163196.4935>	gideon.co.jp	agencies and sign	https()
	0008	2012/10/02 11:03:03	<0022157d56bf.1349143383.9866>	gideon.co.jp	Advances Hazip	https()
	0009	2012/09/27 14:58:52	<0022157d56bf.1348725532.8296>	gideon.co.jp	General States	https()
暗号化ログファイル				快索		
2012/08/26 18:00:07 <00221276687 2012/09/26 18:00:07 <00221276687	348644607.1 348644607.1 348644607.1 348644607.1 348644607.1 348644607.1 348644607.1 348644607.1 348644607.1 348644607.1	<pre>387> encription start 387> dosize(283): st 387> config.get_0: 387> mrite: /war/tmp/ 387> fileg.get_0: 387> filec(0:2020026: 387> filec(0:2020026: 387> downtelist: 387> docket/ist 387> docket/ist 387> config.get_0: 387> config.get_0:</pre>	(0): shickana@gideon.co.jp art file_locale key → File_locale katororyto.180644007.14387/files/58 MiM.tip 930.tip egideon.co.jp): start megideon.co.jp): start megideon.co.jp): start key → subject_accoppe hey → subject_accoppe	-@-A-B-C-D-E-F-G-H-I-J kJWENPhsoqjU=?=): star UkJWENPhsoqjU=?=): sta	-K-L(B.txt t	
2012/09/26 16:3007 <002215/3667. 2012/09/26 16:3007 <002215/3667. 2012/09/26 16:3007 <002215/3667. 2012/09/26 16:30107 <002215/3667. 2012/09/26 16:30107 <002215/3667. 2012/09/26 16:30107 <002215/3667. 2012/09/26 16:30107 <002215/3667. 3012/09/26 16:30107 <002215/3667. 38:1v2rf NDM9Noi 1503.Nai <45575*</td <td>1340644607,14 1340644607,14 1348644607,14 1348644607,14</td> <td>1387> config_get_s(): 1387> dobody(This is a 191≢(6</td> <td>núlti-part message in HDME format.</td> <td></td> <td></td> <td></td>	1340644607,14 1340644607,14 1348644607,14 1348644607,14	1387> config_get_s(): 1387> dobody(This is a 191≢(6	núlti-part message in HDME format.			

画面1.6

[再読み込み]ボタン :

暗号化ログ、状況や監視イベントの表示を最新にする場合にクリックします。 [ログアウト]ボタン :

管理GUIから再度ログイン画面に戻る場合にクリックします。

動作状況 :

ONはサービス稼動中、OFFはサービス停止中です。動作状況表示ボタンをク リックすると、動作切り替えウインドウがポップアップし、サービスのON/OFFを 切り替え可能です。

●暗号化ログ(画面1.6 上段部分)

メール暗号化を行った日時、メール暗号化のID、送信元アドレス、暗号化ファイ



第1章 管理GUI操作

ル名などの情報をログに出力します。

なお、表の各項目名(No、日時、AUTOCRIPTO-ID、From、送信)の部分 をクリックすると、項目別に表をソートすることが可能です。

[自動更新]ボタン :

このボタンをクリックすると、ボタンの色が **マ** (10) と変化し、10秒ごと にログ表示を更新します。

[ダウンロード]ボタン :

このボタンをクリックすると、リアルタイム監視ログをcsv形式でダウンロードすることができます。

●暗号化ログファイル (画面1.6 下段部分)

ここでは暗号化処理の詳細ログを表示します。

1.6 全体設定

画面1.6上段左部の[全体設定]ボタンをクリックすると、画面1.7がポップアップウ インドウとして表示されます。

この画面では暗号化ファイルの名称、解凍パスワード、承認方法、暗号化対象 のメールアカウントなどを設定します。

		108/1	0.0 11 0.04	1219 974	1,000	I Shirts II	2.000	
略号化フ	アイル名					略号化後の添付	ファイル名を指定できます。以	下のマクロが利用
\${file	ename}.	zip				\${filename}	メール内の最初のファイル名	
a bel a						%Y	現在の西暦年(4桁)	
< 例 > 現在日日	± 112012	年1日4日0月	■ 自30分の場合			%y	現在の西暦年(下2桁)	
%Y%r	n%d%H	%M.zip ->	201201040930.	zip		%m	現在の月(01~12)	
						%d	現在の日(01~31)	
						%H	現在の時(00~23)	
						%M	現在の分(00~59)	
						%S	現在の秒(00~60)	
						%%	%文字	
パスワー	ドメールの)件名				パスワードが記述 \${subject}とい を展開することが	話されたメールに付けられる件ま うマクロを利用することで、暗号 可能です。	Sを指定できます。 WCファイルの件名
最大サイ	7 100	M	byte			暗号化する際の. ルは 暗号化を行	×ールの最大サイズです。この いません。	サイズを超えたメー
土的另外	サブジェノ	71-				非暗号化サブジョ 致した場合 活付	ェクトは指定した文字列に、メー	ルの件名が前方一
		- 10				指定した文字列に	ニメール本文中の『行』が完全-	一致した場合、添作
非略号化	fī					ファイルの暗号化	;を行いません。	

画面1.7

設定項目の詳細を以下にご案内します。



第1章 管理GUI操作

1.6.1 基本設定

[全体設定]ボタンをクリックした直後、あるいは[基本設定]タブを選択することにより表示される画面1.4上で、暗号化ファイル名の名称、解凍パスワードの形式、暗号化を行うメールを自動選択するフィルタの設定が行えます。

1.6.1.1 暗号化ファイル名

暗号化した後の添付ファイル名の形式を設定します。 ファイル名の設定では以下のマクロが利用できます

•	\$(filename)	メール内の最初のファイル名
	%Y	現在の西暦年(4桁)
	%у	現在の西暦年(下2桁)
•	%m	現在の月(2桁)
•	%d	現在の日(01~31)
	%H	現在の時(00~23)
	%M	現在の分(00~59)
	%S	現在の秒(00~59)
	%%	%文字
<例>		

現在日時が2012年1月4日9時30分の場合 %Y%m%d%H%M.zip → 201201040930.zip

1.6.1.2 暗号化ファイルパスワード

暗号化ファイルのパスワードを設定します。

「暗号化ファイルパスワード」の欄には固定の文字列、および\${1}~\${16}というマクロを利用して設定します。

<例>

「gideon\${10}」と設定した場合

パスワード名: gideon(任意の10桁の文字列)

また、「マクロで展開されるランダムな文字集合の種類」の欄では文字列を 英数のみにするか、或いは英数記号にするかを選択できます。

1.6.1.3 パスワード通知メールの件名

パスワード通知メールの件名を固定の文字列、および\${subject}というマクロ を利用して設定します。

<例>

「[パスワード] \${subject}」と設定した場合

パスワード記述メールの件名: [パスワード](送信したメールの件名)

1.6.1.4 最大サイズ

暗号化する際のメールの最大サイズをMbyte単位で設定します。このサイズ を超えたメールは暗号化を行いません。

1.6.1.5 非暗号化対象メールのフィルタ設定

「非暗号化サブジェクト」の欄に指定した文字列に、メールの件名が前方一致 した場合、添付ファイルの暗号化を行いません。 また「非暗号化行」の欄に指定した文字列にメール本文中の『行』が完全 一致した場合、暗号化を行いません。



第1章 管理GUI操作

1.6.2 承認

画面1.7上で、[承認]タブを選択することにより表示される画面1.8上で、承認 モードとデフォルトテンプレートを設定します。

● 承認なし(パスワード送信を10秒後に自動で行います) ● 自己承認モード(パスワード送信の許可を、送信者自身が行います) ● 承認依頼モード(パスワード送信の許可を、『承認者』にお願いします)	自己条約モード/条認依頼モードでは、条認画面から操作するこ で初めてパスワード記述メールが送信されます。また、これらを利 するにはRID管理』でIDを追加する必要があります。
ゲフォルトランプレート TEDの3倍度メール 確愛しまれています。 このファイルの簡野パスワードをお送りいたします。 パスワード: \${sussevrd} 送信 メール From: \${root. Subject: \${subject_decode} Dote: \${subject_decode} Dote: \${ubject_decode} Dote: \${ubjec	★説われたパワード連邦メールは、まフンブレートの内容に従ってメールを支付申込、通行します。 ただし、UID特理はになき之れた簡別テンブレートが存在する場 には、そらを発して利用します。 まつブレートには、以下のマクロを利用することができます。 まつブレートには、以下のマクロを利用することができます。 まつブレートには、以下のマクロを利用することができます。 まつブレールには、「たっていた」であっていた。 までのかり、通信者(envelope from) までのから、「たっていた」であっていたのです。 まではないた。 なくdate) たメールの内容には、 まで、コントルの内容に まで、(mdS) まで、autocrypto-id) 製品が付加する10

画面1.8

1.6.2.1 承認モードの選択

パスワード通知メールを送信する際の承認の要否と承認を誰が行うかのモードをラジオボタンにより次の3つから選択します。

1) 承認なしモード(パスワード送信を10秒後に自動で行います)

2) 自己承認モード(パスワード送信の許可を、自分自身で行います)

3) 承認依頼モード(パスワード送信の許可を、『承認者』にお願いします)

[注意] 1)以外のモードを選択した場合は後述のID登録を行わないとパスワード通知メールが送信されま せんのでご注意ください。

1.6.2.2 デフォルトテンプレート

承認されたパスワード通知メールは、本テンプレートの内容に従ってメール本文 を作成し、送付します。

ただし、『承認ID管理』にて設定された個別テンプレートが存在する場合には、そちらを優先して利用します。

本テンプレートには、以下のマクロを利用することができます。

・\${password} 暗号化ファイルのパスワード

元メールの件名

- ・\${from} 送信者(envelope from)
- \${subject_decode}
- ・\${date} 元メールの時刻
- ・\${message-id} 元メールのMessage-Id
- ・\${filename} 暗号化ファイルのファイル名
- ・\${md5} 暗号化ファイルのMD5値
- ・\${autocrypto-id} 製品が付加するID

<テンプレート設定例>

いつもお世話	記なっております。ギデオンです。
下記のメール 開封パスワー	νでお送りしました添付ファイルの −ドをお知らせ致します。
パスワード:\${	password}
よろしく御願い	い申し上げます。
	送信済メール
From: Subject: Date:	\$ from} \$ subject_decode} \$ date}
+ 株式会社 ギ 〒2230056横 TEL045-590 E-mail: info URL: http:/	+ デオン 浜市港北区新吉田町3382-7)-1216 FAX045-590-1217 @gideon.co.jp /www.gideon.co.jp/

第1章 管理GUI操作



1.6.3 ID管理

画面1.7上で、[ID管理]タブを選択すると、画面1.9が表示されます。この画面 上では承認や個別テンプレートを利用するためのID、承認GUIアクセスのた めのパスワード、利用するテンプレート登録と承認依頼のための『承認者』を 指定できます。

() () () () () () () () () () () () () (永認 ID管理 ホワ・	ホリスト チェック	リスト ライセンス	SMTPサーバ 更新想	境
ID(X	- ルアドレス)追加		通加	承認するためのID/パスワ 者加を指定できます。 個別テンプレートを設定した 先して利用します。 個別テンプレートでは、デフ	ード登録と、承認依頼のための即 場合には、デフォルトテンプレー! オルトテンプレートと同様に、以下
ID(X 承囲者	- ルアトレス)管理	1=	シブレート	山を利用することかできます \${password}	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
				\${from}	送信者(envelope from)
٩	example@example.com	1	別別使用	\${subject decode	1) 元のメールの件名
	example4@example.com	1	テフォルト使用	\${date}	元メールの時刻
	example3@example.com	1	デフォルト使用	\${message-id}	元メールのMessage-Id
	example2@example.com		デフォルト使用	\${filename}	暗号化ファイルのファイル名
64 4	b bi	Disalari		\${md5}	時号1EノアイルのMD5tb

画面1.9

1.6.3.1 ID追加

[追加]ボタンをクリックすると、画面1.10が表示されます。画面1.10上で承認 が必要なメールアカウント、後述の承認GUIへのログインパスワード、『承認 者』の指定を設定します。



画面1.10

また、同画面上ではパスワード通知メールのテンプレートを個々に設定できま す。ここで個別テンプレートを設定した場合、デフォルトテンプレートより優先 して利用されます。個別テンプレートでは、デフォルトテンプレートと同様に、 以下のマクロを利用することができます。

 \${password} 	暗号化ファイルのパスワード
• \${from}	送信者(envelope from)
 \${subject_decode} 	元メールの件名
· \${date}	元メールの時刻
 \${message-id} 	元メールのMessage-Id
 \${filename} 	暗号化ファイルのファイル名
• \${md5}	暗号化ファイルのMD5値
 \${autocrypto-id} 	製品が付加するID

1.5.3.2 承認ID編集

ID管理の表中の各行をクリックすると、画面1.10が表示され、ID追加と同様 に設定内容を編集できます。



第1章 管理GUI操作

1.6.4 ホワイトリスト

画面1.7上で、[ホワイトリスト]タブを選択すると、画面1.11が表示されます。この画面上で指定した送信元や送信先のメールアドレスを含むメールに対してはメール暗号化を行いません



画面1.11

タイプ指定には以下があり、メールアドレスかメールアドレスの『@』以降を記述 できます。

from= envelope fromと一致

- to= envelope toと完全一致
- to*= 複数のenvelope to中、1つでも一致

<例>

- ・@example.comが含まれるenvelope fromは暗号化しない。 from=@example.com
- info@example.jpが唯一のenvelope toの場合は暗号化しない。
 to=info@example.jp
- ・複数への宛先送信中、1つでもadmin@example.jpが含まれた場合は 暗号化しない。

to*=admin@example.jp

[オートクリプト機能を利用しているMTAがsendmailの場合の注意事項]

外部メール配信に関しては、メールアドレスをそのままホワイトリストに記述していただいて構いません。

しかし、本製品が導入されているサーバ宛のメールアドレスを指定する場合には、ホスト部分を@localhostに変更してください。

具体的には、example.comにオートクリプト機能が導入されている場合、 to=user@example.comではなく、to=user@localhostと記述します。 to*についても同様です。

第1章 管理GUI操作

1.6.5 チェックリスト

画面1.7上で、[チェックリスト]タブを選択すると、画面1.12が表示されます。この画面上で記述されたアドレスがenvelope fromに含まれる場合に暗号化を行います。



画面1.12

1行内にメールアドレス、もしくはメールアドレスの『@』以降を記述します。 記述がない場合は、全てのメールが暗号化対象となります。

<例>

- info@example.com、もしくは@example.jpが後方一致するアドレスのみ 暗号化する。
 - info@example.com
 - @example.jp

1.6.6 ライセンス

画面1.7上で、[ライセンス]タブを選択することにより表示される画面1.13上 で、ユーザ登録時に発行された「お客様登録No.」と「パスワード」を入力しま す。

タネネズ 第二 10倍度 ホワ・ホリスト ライセンス SMTPサーバ 夏無環境 お古信夏温No. AV****** 本製品のライセンス設定です。 パスワード g******* 本製品のライセンス設定です。



第1章 管理GUI操作

1.6.7 SMTPサーバの設定

画面1.7上で、[SMTPサーバ]タブを選択することにより表示される画面1.14 上で、通知メールなどを送信するために使うメール(SMTP)サーバとメール サーバ利用に認証が必要であれば、認証方法、認証ユーザ名とパスワードを 指定します。

ホスト名については、例えば、自社の正式なメールサーバ名(FQDN)が、mail. domain.jpであればそのメールサーバ名を指定します。 また、メールサーバ内に本製品をインストールした場合は「127.0.0.1」で構いま せん。

書本設定	承認	ID管理	ホワイトリスト	チェックリスト	ライセンス	SMTPサーバ	更新環境	
ホスト名	127.0.0.	1	ポート番号 2	5		本製品がメールを	送信する際に利用す	るSMTPサーバの設定で
調証方法	指定なし		~			s.		
ユーザ名		<i>K</i> 5	スワード					

画面1.14



全体設定

1.6.8 更新環境の設定

基本設定 承認 ID管理 ホワイトリスト

重新のためにHTTPプロキシを利用しない

 更新のためにHTTPブロキシを利用する フロキシのホスト名
 ボート番号
 認証ID
 認証バスワード

画面1.7上で、[更新環境]タブをクリックすると、画面1.15が表示されます。

本製品は外部HTTPサイトにアクセスすることで、モジュールおよび定義ファイ ルを更新します。特定のHTTPプロキシサーバを経由しないと外部のURLにア クセスできない場合には、「更新のためにHTTPプロキシを使用する」を選択し てください。

「プロキシーのIPアドレス」「ポート番号」は必須項目です。 「ID」「パスワード」が設定されている場合には、それぞれ入力が必要です。

SMTPサーバ 更新環境

本サーバからHTTPで直接インターネットに接続できない場合に設 定します。 本製品は、ライセンス更新やアップデート、ウイルス定義ファイルの 更新をHTTPで行いますので、必要な場合は必ず設定をお願いしま

設定

キャンセル

チェックリスト

画面1.15



1.7 サポート画面

「サポート」タブをクリックすると、画面1.13 が表示されます。

utoCrypto		_	▶ 再読み込み	▶ ログアウト
+ポート				
●最新のバージョン皆報	稼動状況			
 ● ● ● ウルレスは第ファイル: 7586252.0012.10.5.18.8.0 ● 観品モジュールの手動更新 ▶手動更新 	[useriafo] [Str:] Swriens] (www.vestoon: j.b.6 200-0-0-0 www.vestoon: needed volution Method: vestoon: needed volution Method: vestoon: needed volution Method: vestoon: needed volution (modile) (modile) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	:18:8:0 anver/bin/gaenver: Ⅲ 送信する		3
	▶状況送信			
ウイルス定義ファイル更新ロ -	▶状況送信			▶手動更新
ウイルス定義ファイル更新ロ ・更新時刻	 ・	≠成功失敗理由	◆接続サーバ	▶手動更新
ウイルス定義ファイル更新ロ *更新時刻 2012/10/05 19:15:51	 ▶状況送信 グ照歴 ◆定義ファイル-名 7983033.2012.10.5.13.44.0 	◆成功/失敗理由 Success	◆报続サー/『 dni-06.geo.kaspersky.com	▶手動更新
<mark>ウイルス定義ファイル更新ロ * 更新時刻 2012/10/05 16:15:51 2012/10/05 14:15:44</mark>	 ▶状況送信 ▶状況送信 ◆定義ファイル名 7883033.2012.10.5.13.44.0 7881433.2012.10.6.12.27.0 	◆成功決敗理由 Success Success	⇒投続サーバ dni-08 geo kaspersky.com dni-19 geo kaspersky.com	▶手動更新
ウイルス定義ファイル更新ロ ・更新時刻 2012/10/05 18:15.51 2012/10/05 14:15.44 2012/10/05 13:15:47	▶ 抗況送信	◆成功失敗理由 Success Success Success	≑我応サーバ dni-00,geo kaspersky.com dni-19.geo kaspersky.com dni-10.geo kaspersky.com	▶手動更新
<mark>・更新時刻</mark> 2012/1008 19:16:51 2012/1008 19:16:54 2012/1008 19:16:44 2012/1008 19:16:47 2012/1008 13:15:46	▶ 抗児送信 ジ環歴 「空気ファイル名 789033.2012.10.5.13.44.0 789133.2012.10.5.12.27.0 789083.2012.10.5.12.27.0 7979580.2012.10.5.8.5.0	⇒ 成功/決敗理由 Success Success Success Success	■ お板応サーバ dni-00 geo kaspersky com dni-19 geo kaspersky com dni-10 geo kaspersky com dni-12 geo kaspersky com	▶手動更新
ウイルス定義ファイル更新ロ ・更新時刻 2012/10.06 19:15.51 2012/10.06 19:15.41 2012/10.06 19:15.47 2012/10.06 19:15.42 2012/10.05 10:15.52	▶ 抗況送信 グ飯歴 9 定第 27×10×6 788033 2012 10.5.13 44.6 786133 2012 10.5.12 47.0 7860132 2012 10.5.12 47.0 7976805 2012 10.5.3.5.0 7967053 2012 10.5.3.370	● がびの先用交通日 Success Success Success Success Success Success	◆接流サー/) dni-06 geo kasperaky.com dni-16 geo kasperaky.com dni-12 geo kasperaky.com dni-12 geo kasperaky.com dni-12 geo kasperaky.com	▶手動更新
ウイルス定義ファイル更新口 ・更指統創 2012/1008 19:15:51 2012/1008 14:15:42 2012/1008 14:15:47 2012/1008 10:15:52 2012/1008 04:16:52	▶ 北沢送信 ジェ 学定義ファイル名 786933.2012.10.5.13.44.0 786912.2012.10.5.13.44.0 797980.2012.10.5.13.0 7979805.2012.10.5.9.5.0 7979805.2012.10.5.9.5.0 7979805.2012.10.5.9.3.0	+ 成功決決改理由 Success Success Success Success Success Success Success	◆親続サーバ dn1-02 geo laspeelay.com dn1-19 geo laspeelay.com dn1-12 geo laspeelay.com dn1-12 geo laspeelay.com dn1-12 geo laspeelay.com dn1-12 geo laspeelay.com	▶手動更新
ウイルス定義ファイル更新ロ - 更新時期 2012/1008 1%16.61 2012/1008 1%16.41 2012/1008 1%16.44 2012/1008 1%16.62 2012/1008 0.16.62 2012/1008 0.16.62	・ 状況送信 グ報度 2変充プルル-26 786033 2012 10 & 13 + 4 0 786133 2012 10 & 11 2 + 0 7876133 2012 10 & 51 2 + 0 7876133 2012 10 & 51 2 + 0 7876133 2012 10 & 53 3 0 786753 2012 10 & 53 3 0 7966573 2012 10 & 53 8 0	 ・ パレカルや-思い支払 Success Success Success Success Success Success Success Success Success 	■ お見代サーノパ (m1-00 geo laspensity com on 1-12 geo laspensity com on 1-12 geo laspensity com on 1-12 geo laspensity com on 1-24 geo laspensity com on 1-24 geo laspensity com on 1-24 geo laspensity com	▶手動更新
ウイルス定義ファイル更新ロ ・更称45次1 2012/1008 10:16:51 2012/1008 14:16:44 2012/1008 14:16:47 2012/1008 10:16:82 2012/1008 10:16:82 2012/1008 02:16:58 2012/1008 02:16:58			・ ・ ・	▶手動更新
ウイルス定義ファイル支払 - 変称的の 2012/1004 19:15:51 2012/1004 19:15:41 2012/1009 13:15:47 2012/1009 13:15:47 2012/1009 13:15:42 2012/1009 04:15:62 2012/1009 04:15:65 2012/1009 04:15:65	★ 代兄送信 グ気健 2支表プールル-2 796433 2015 10 5 13 4 4 0 796433 2015 10 5 13 7 4 0 796432 2015 10 5 12 7 0 796952 2015 10 5 5 0 7969533 2015 10 5 3 3 0 7960533 2015 10 5 3 3 0 7960533 2015 10 5 3 3 0 7960533 2015 10 5 3 3 0	a かわりたまでは bucces buc		▶手動更新
ウイルス定義ファイル支払[1] ・支約430 ・支約430 ・支約430 ・支約430 ・支約430 ・支約430 ・ション ・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・ ・・・・・・	K 現在信 学校現在 学校現在 学校の表記は10613440 学校は多点は10613440 学校は多点は10613270 学校は多点は1068.0 学校でのまたは08.0 学校でのまたしの8.0 学校でのまたしの8.0 学校でのまたしの8.0 学校でのまたしの8.0 学校でのまたしの8.0 学校でのまたしたまたで 学校があたまた。 学校でのまたしたまたで 学校があたまた。	+ のよりにそれなり直接 Buccess Buccess Buccess Buccess Buccess Buccess Buccess Buccess Buccess Buccess Buccess Buccess	・ ・ ・	▶手動更新

画面1.16

[再読み込み]ボタン :

稼動状況やウイルス定義ファイル更新ログの表示を最新にする場合にクリック します。

[ログアウト]ボタン :

管理GUIから再度ログイン画面に戻る場合にクリックします。

最新のバージョン情報

製品モジュールとアンチウイルスエンジンの定義ファイルの現在のバージョンが 表示されます。

製品モジュールの[手動更新]ボタン :

[手動更新] ボタンをクリックすると、その時点で最新のモジュール(修正パッチ モジュール、アップデートモジュールなど)の取得を行います。既に更新済みの 場合は新たに更新されません。







自動更新の頻度は、初期設定では1日1回の更新に設定されています。緊急 対策が必要な場合は手動更新を行ってください。

稼働状況

1時間おきに実施される製品稼働チェックの結果が表示されます。

ウイルス定義ファイル更新ログ履歴

1時間おきにウイルス定義ファイル更新動作の結果が表示されます。但し、配 布元サーバが更新されていないなどの理由で定義ファイル配布元サーバと製 品内にダウンロードされている定義ファイルが同一の場合の更新動作につい ては表示されませんのでご了承下さい。

ウイルス定義ファイルの[手動更新]ボタン

[手動更新] ボタンをクリックすると、その時点で最新の定義ファイルの取得を 行います。既に更新済みの場合は、新たに更新されません。

自動更新の頻度は、1時間毎に設定されています。緊急対策が必要な場合は 手動更新を行ってください。

自己承認モード、或いは承認依頼モードを選択した場合、承認GUI画面から パスワード通知メールの送信承認の操作を行えます。

本章では承認の流れと承認GUIの操作方法をご案内します。

2.1 承認の流れ

自己承認モードと承認依頼モードでそれぞれの承認の流れは次の通りです。

[自己承認モード]

添付ファイル付きメール送信 送信先に添付ファイルが暗号化されたメールが届く 送信元ID(メールアドレス)で承認GUIにログインし、『送信』ボタンをクリック 送信先にパスワード通知メールが届く

[承認依頼モード(承認される場合)]

添付ファイル付きメール送信 送信先に添付ファイルが暗号化されたメールが届く 送信元ID(メールアドレス)で承認GUIにログインし、『承認依頼』ボタンをクリック 承認者に承認依頼メールが届く 承認者ID(メールアドレス)で承認GUIにログインし、『承認する』ボタンをクリック 送信先にパスワード通知メールが届く

[承認依頼モード(承認されない場合)]

添付ファイル付きメール送信 送信先に添付ファイルが暗号化されたメールが届く 送信元ID(メールアドレス)で承認GUIにログインし、『承認依頼』ボタンをクリック 承認者に承認依頼メールが届く 承認者ID(メールアドレス)で承認GUIにログインし、『承認しない』ボタンをクリック 送信元に非承認メールが届く



第2章 承認GUI操作

2.2 承認GUI画面のアクセス方法

個々のクライアントPC、或いはスマートフォンやタブレットなどのモバイル デバイスから承認GUI画面にアクセスします。WEBブラウザのアドレスバーで、 以下のようにシステムのホスト名またはIPアドレスとポート番号(777)とサイト名 (approve)を指定します。

> http://antivirus.gideon.co.jp:777/approve/ ※ホスト名がantivirus.gideon.co.jpの場合

セキュリティが気になる場合は、HTTPSでポート番号(999)を指定します。

https://antivirus.gideon.co.jp:999/approve/ ※ホスト名がantivirus.gideon.co.jpの場合

※お使いのWEBブラウザおよびファイヤーウォールで、上記のポート番号を 許可するように設定してください。

2.3 ログイン

承認GUI画面にアクセスすると、画面2.1のログイン画面が表示されます。 ここで先に管理GUIから登録しておいた承認IDとパスワードを入力した上で、 [ログイン]ボタンをクリックしてログインを行います。

※PCのブラウザからアクセスした場合

Welcome to "Gideon APProve system"		
D		
パスワード		
	ログイン	
	01.0 2042	

画面2.1

※スマートフォンのブラウザからアクセスした場合



画面2.2



承認GUI画面にログインすると、画面2.3の承認待ちパスワード通知メールリストが表示されます。

日付 (
@ Eilto	ritama		_
COLD FILL	r items		
Grind			
	2.辛甘古勤中宁 Xi-	2012-10-02 1	2:05 _
送信者:==	2.中村主動中マスト Minipipestrust	2012-10-02 12	2:05

画面2.3

画面2.3上でリスト右部にある
● をクリックすると、選択されたメールについて、 自己承認モードの場合は送信承認画面、承認依頼モードの場合は承認依頼 画面が表示されます。

[自己承認モードの場合]



画面2.4



画面2.4上でパスワード通知メールの送信を承認する場合は[送信]ボタンをク リックしてください。

続いて画面2.5のメール送信の確認画面が表示されますので、ここで [はい」 を選択すると指定された宛先にパスワード通知メールが送信されます。



画面2.5

また、パスワード通知メールの送信を承認しない場合は[削除]ボタンをクリックす ると、パスワード通知メールは送信されず、破棄されます。

[承認依頼モードの場合]

0 R6	
元先 admini	pocaliterst
件名 周期前	「古家字十二ト
件名: 九点宇村	き数字テスト
下記の送信済メ	ールの添付ファイルは、パスワード付きZIPにて
暗号化されているこのファイルの影	ます。 引封パスワードをお送りいたします。
パスワード: いま	U7U7Fight10r
送信済メール	
From: admin	discolory in address codes
Subject:	FM2 # F 7
Message-Id:	0012012 12:03:22 +0900
<20121002120	522.00891.862.shiokawa@pideon.co.jp>
NIL 17174	With a state of the state of th
以上、ようし(お	願いいたにより。
	AIR)
	承認処理を依頼
	GAPP ©GIDEON Corp. 2012
9 85	

画面2.6





画面2.6上でパスワード通知メール送信の承認処理を承認者に依頼をする場合は[承認処理を依頼]ボタンをクリックしてください。

続いて画面2.7の承認依頼確認画面が表示されますので、ここで複数の承認 者が登録されている場合はプルダウンメニューより承認依頼先IDを選択して [はい」をクリックすると指定された承認者に承認依頼メールが送信されます。

_		_
	example@example.com	0
example@	example.com	
sagers	hei	
	はい	
\geq		

画面2.7

承認依頼メールを受け取った承認者は承認者IDで承認管理GUIにログイン すると、画面2.8の承認待ちリストが表示されます。

2012-10-02 12:05

画面2.8

承認者は画面2.8上でリスト右部にある

をクリックすると、選択されたメールについて、画面2.9のパスワード通知メール送信承認画面が表示されます。

メールを送信します。 よろしいですか?



第2章 承認GUI操作



一方、画面2.9上で承認者が承認しない場合は[承認しない]ボタンを クリックし、引き続き、画面2.11の非承認確認画面が表示されますので、 ここで承認できない理由を記載した上で[はい]を選択すると、非承認通知 メールが送信元に送付されます。

承認できな	い理由をここに書いて下さい
この内容は	承認依頼をしたユーザに通知されます。
よろしいで	すか?

画面2.11

画面2.9

画面2.9上で承認者が承認する場合は[承認する]ボタンをクリックし、引き続き、 画面2.10の承認確認画面が表示されますので、ここで[はい]を選択するとパス ワード通知メールが送信先に送付されます。

メールの送信を承	認します。	
よろしいですか?		
	はい	
	ININŽ	

画面2.10

お問合わせ

■ お問合わせ

株式会社 ギデオン 〒223-0056横浜市港北区新吉田町3382-7 http://www.gideon.co.jp/

●サポートセンター(技術的お問合せ)
 E-mail: sp@gideon.co.jp
 TEL 045-590-3655

●インフォメーションセンター(その他のお問合せ)

E-mail: info@gideon.co.jp TEL 045-590-1216

受付時間/9:00~17:00(祝祭日を除く、月~金)

ギデオン AutoCrypto 操作ガイド

2012年10月5日 初版発行

発行所 株式会社ギデオン 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町3382-7 http://www.gideon.co.jp/

本誌からの無断転載を禁じます。 乱丁、落丁はお取替え致します。上記発行所までご連絡下さい。

Copyright(c)2012 GIDEON Corp. Printed in Japan